

事業所名

放課後等デイサービス「ちゃれんじ」

支援プログラム

作成日

7年

3月

21日

法人（事業所）理念		必要とされる事業所になる。必要とされる人になる。人を大事にする。（人とは、働く仲間・利用児・保護者・関係機関）					
支援方針		5領域に基づいた支援を行っています。「健康・生活」「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「認知・行動」の5領域に基づき、対人関係のスキルアップや子どもたちの持つ資質や能力の成長のサポートを行います。支援を通して、子どもたちが自信を持って自ら行動したり、様々な選択をすることができるようになることを目指しています。					
営業時間		9時	0分 から	18時	30分 まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○ ねらい： 健康状態の維持・改善 生活のリズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得 を目指しています。具体的には、来所時の検温、手消毒、身支度、手洗い、うがい、水分補給、排泄、トイレトレーニング、食事、片付け、掃除、料理等。					
	運動・感覚	○ ねらい： 姿勢と運動・動作の向上 姿勢と運動・動作の補助手段の活用 保有する感覚の総合的な活用 を目指しています。具体的には、体育館での運動療育、音楽、リトミック、紙芝居、読み聞かせ、粘土、感覚遊び・感覚統合、姿勢の保持、体操、リズム、粗大運動、微細運動、創作活動、公園で遊具を使った運動等。					
	認知・行動	○ ねらい： 認知の発達と行動の習得 空間・時間、数等の概念形成の習得 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 を目指しています。具体的には、時間・タイマーの利用、持ち物、スケジュールの確認、送迎車の確認、お金の計算、ロッカーの名前の確認、空間、色、形、大小、長さ、重さ、数量等。学習支援では、学校から出された宿題を来所後は必ず取り組むという“習慣化”させることを目標にしている。					
	言語 コミュニケーション	○ ねらい： 言語の形成と活用 言語の受容及び表出 コミュニケーションの基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用 を目指しています。具体的には、挨拶、指差し・身振り・サイン等も用いて意思の伝達、絵カードによるコミュニケーション手段、読書、音読、伝言ゲーム、早口言葉、ロールプレイング、プレゼンテーション、話し合い等。					
	人間関係 社会性	○ ねらい： 他者との関わり（人間関係）の形成 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加 を目指しています。具体的には、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、ごっこ遊び等の象徴遊び、協同遊び、感情のコントロール、マナー・ルール理解、実務トレーニング（パソコン・電話対応の仕方・電卓・面接練習）等。					
家族支援		子育ての悩み・ご家族の悩み・お子様の進路や発達等の相談援助をおこないません。		移行支援		学校や相談支援員、併用している他事業所との連携・情報共有、体育館や公園、図書館等の公共施設、公共交通機関利用の練習の支援をおこないます。	
地域支援・地域連携		地域で安心した生活を送るために、学校、地域の学童クラブ、併用している他事業所との連携、福祉事務所、児童相談所、協力医療機関との連携をします。		職員の質の向上		療育の振り返り、多職種による意見交換、各種研修会の参加、職員ミーティング、勉強会の実施。	
主な行事等		季節の行事（初詣・ひな祭り・お花見・ハロウィン・クリスマス等）、卒業遠足、保護者会、避難訓練等をおこなっています。また「ちゃれんじ」の強みである“体験型療育”では、オセロ大会やけん玉大会、ビンゴ大会、ぬり絵大会、いちごやみかん狩りなどの季節に合わせた果物狩り、ピザ作り、陶芸体験、プール、海水浴場、山登り、洞窟探検、動物園、水族館、大型遊具のトランポリン、科学館、工場見学、買い物体験、外食体験、県外の公園やイベントにも外出し、視野を広く持ちたくさんの経験から自信をつける機会をおこなっています。					